

磐城時報

七日 磐城時報 編輯人 田田 弘成 印刷所 磐城時報印刷所 發行所 磐城時報發行所 電話 二二二二 廣告料 一行十四字 日金五銭 一月四角 三月一元二角 半年二元五角 一年四元五角 零售 日金五銭 休刊 日刊 日曜 祭日 休刊

私娼窟を移轉せよ

平町の輿論あつまる 成行注目さる

理由... 南町は將來の中心地

私娼の窟窟平町南町は近き將來は今春に於て挽回せんとしてに於て大平町の中心地となる重なるため掃立て増加の傾向とな要な街であるが、同街は私娼窟つたものである、前年の掃立てとして、發展しつゝある實数は一萬六千七百六十六枚でたため此の重要な街から各商店或あつたが今年には約二百枚位の増は係給生活者が他町に轉居を余加を見る模様である。

平町就學兒童數

平町小學校本年四年入學する兒童當局でも調査する等であるが與數は合計六百四十九名中、男三味あるものとして見られてゐる

新見學務課長臨席 けふ磐中卒業式

磐城中等學校第二十九回卒業式は學生代表白鳥謹一君の謝辭があつた。式は午前十時から同校講堂で舉つて閉式した。

奉安庫設置

四倉小學校では御眞影奉安庫を建設する事になつたが工費一千七百圓で口忠一氏が請負事になつた

貨車路線

第一線許可

掃立敷が 増加の見込

石城郡養蠶同業組合では今春蠶掃立枚數の調査を開始したが昨年より増加の傾向にある、これは前年霜害その他から大打撃を受け更に繭價安のため各養蠶家

合戸に至る路線は近く認可に接することになつた。ゆゑ更に第二路線として調査中であつた平起点飯野、鹿島の二村及び玉川村の一部を貫通して小名濱に至る全長約八哩の路線も大体測量が終了したので右路線も書類の完成を待つて認可申請の手續きを取る豫定である。

赤井嶽例祭

赤井嶽常福寺の例祭は來る十日執行の筈で當日は日曜日でもあり相當人出があらうと豫想されてゐる。尚ほ既報した金華山から鹿を運んで來て放すのは十六日頃になると。

大抵の職工は 不況で賃銀値下げ

氣の毒なのは雑役夫

石城郡地方に於ける各種工賃を困る悲惨な状態である。仕事の見るに職工中で比較的割のよいない秋から冬にかけての所謂冬のは石工で一日金三圓五十銭か眠季節も過ぎてこれから労働者ら又左官三圓、大工二圓五十銭などで雑役夫二圓位となつてゐるが、かうした賃銀は唯だ表看板に過ぎず各工場共に頗る閑散で各職工もともすれば雨も降らぬに仕事がないため休まねばならぬ有様である、之がため自然各自は其賃銀を糶り落し大工等は一圓六十銭位で働いてゐる向きもある、中にも氣の毒なのは親方の手で方々に働らきに出る雑役夫で之は一日一圓から一圓二十銭位の賃銀で而もこれに二割のふを取られるのでは平署に於て佐々木山林部長がのり判明し同人を取調べた上失調を以て連日現場に出張して調査を行つた結果右火災の原因

磐中の志願者は 五百名内外か

唐土磐中校長談

縣立磐城中等學校本年度入學試驗は來る二十八日から三日間執行するが、關係各小學校の入學希望者を綜合すると本年度は例年より若干減少し定員二百五十名に對し約倍數の五百名位に止まる模様である、考査方法について唐土磐中校長は語る。

平信用組合で 勤儉貯蓄宣傳

平町有限責任平信用組合では組合長大谷久藏氏外役員らの努力により業績逐年發達し縣下有數の強固なる組合として認められるに至つたが昨六月は恰も産業組合法發布の記念日で二十九年に達したので平信用組合では左記の如き標語と數ひ唄の印刷物を配布し組合事業の趣旨宣傳に努める處あつた。

湯本山林火災は 磐炭機關車の飛火

原因漸やく判明す

湯本山林火災は磐城炭礦會社經營の湯本小野村大字金屋生れ當時住所不定無職納豆行商人齋藤光男(二五)は二月内郷村御所字八世原氏名不詳の家に忍び入り箆筒の中か現金一圓五十銭を窃取した事發覺平署に捕はれた。

怪火

石城郡植田町大字植田字藪町渡邊新一方裏戸軒下より去る四日午後六時二十分發火し空炭俵中に入れ置きし鉋屑を燒きつくし傍らの炭俵に延焼しまさに大事に至らんとする際未だ宵の中の事として附近の人々發見し消し止めたが火の氣なき場所として原因不明目下調査中である。

納豆屋の悪事

内郷村大字金屋生れ當時住所不定無職納豆行商人齋藤光男(二五)は二月内郷村御所字八世原氏名不詳の家に忍び入り箆筒の中か現金一圓五十銭を窃取した事發覺平署に捕はれた。

平信用組合で 勤儉貯蓄宣傳

平信用組合で 勤儉貯蓄宣傳

答、口問筆答を加へるだけで、從來と異つた点は小學校に於ける準備教育がなくなつたといふだけですがこの結果が果してどうなるかは極めて興味ある問題です。

四ツトヤよそで誰しも不景氣云ふが組合利用をするがよいするがよい五ツトヤいつも達者と思ふは無理よ未を思へば貯蓄金な貯蓄金な六ツトヤ無駄なおあしは絶對やめて貯蓄しなされ組合へ組合へ七ツトヤなんば奮闘努力をしても貯蓄しなけやたまりやせぬ八ツトヤ山程積んだる貯蓄金でさいも心一つで空なる九ツトヤ心掛一つが百樂の別れ貯蓄しなやう組合に十ツトヤ年々迎ふる記念日を忘れず貯蓄を怠るな十一ツトヤ都々逸下手でも貯蓄は上手今も組合で學べられた十二ツトヤ吹けば飛ぶやうな世帯でさいも貯蓄の力で動きやせぬ十三ツトヤ組合加入は無益と違ひ資金借りたり貯蓄をしな十四ツトヤ難儀忍んで貯めたるお金組合利用で今日の無事十五ツトヤ毎日常少のお金を積んで資本出來たもたれの爲め

植田町の怪火

▲暴れて殴らる 石城

郡植田町木材商藤川信夫(二七)は去る三月一日午後十一時福島市本町三四、ニコノ食堂に酒氣を帯び上店し其際飲食中の客人に對して暴言を吐きたるため同食堂の主人佐藤惣治(三六)は矢筈に藤川を右手で殴打負傷せしめたので加害者は福島署で取調の上傷害罪として送検した。

マラリヤ病に對する追憶

ブラジル・サンパウロから 増田重作(寄)

こんな調子で大正十三年妻の發病を最後として終結し翌年から皆無事、全くの健康状態に復つたが、それは衛生に留意し家の改造其他の設備が與つて力あることと思ふ。大正十五年十月長女が日本から來たが今日迄少しも病徴なく又同年十一月生れた四男も同様である。

▲衛生上の大革新實行

前述の如く最も盛んに使されたのは大正十、十一、十二の三年間で當時マラリヤに對してどうすればよいか知る由もなく全く五里霧中であつた。考へれば實に危険極まる生活を送つてゐたのであつた。併しそのうちに氣付いたのは家の改造であつた、即ち居室を新しく別棟として建て居室を各自別に其家には一切品物を置かず労働衣も別の家で着更える様にし、出入口、マドなどは全部カヤ張りとして蚊のちん入を全防ぎ室内は天井より壁に至るまで紙張りとなし寢室を高くし土間に煉瓦を敷き専ら空氣を清潔にし日光の透過をはかつたがそれより後は驚くばかり家族の

健康状態が良好となり翌年流行期に入るも家族からは一人もかゝらず至つて漸く光明を認め爾來衛生に對する施設を忘れず今日に至るまで皆健康に暮らしてゐます。

近所の人も私の家族ばかりマラリヤに侵されないので不思議に思つてゐたが全く衛生設備のよかつたことが段々に判り、隣家では昨年居室を一棟建て昨年同様の設備をした其人は昨年十月頃までマラリヤで苦しむサンタカタザへも入院し時付にも困つた程だつたが断然家の改造を行つてからはまだ浅いが病体ではなくなつた、先日も私の處へ來られて「近ごろ丈夫になり實際氣分が違ふ、もつと早くすればよかつた」と話して健康に復つたのを喜んでゐた。

鳥御料理

よせなべ類

天井

仕出しは迅速配達致します

平町南町中館隣り

鰻 魚 菜

蒲焼

電話四二四番

時報文藝

▲行路病者

ふら／＼と彷徨い乍ら頭にはこりの銀髪をいただきあわれな行路病者があす死ぬかも知れぬ体を

東京の華をはこる銀座の歩道をのろ／＼進んで行つた冷笑！罵聲！ぞろ／＼と異様な人を見よう／＼とつて來る怒號！冷視！罵倒の渦の巻にも行路病者は生を續けやうとするのか？果して人生の落伍者か？否彼は勝利者だらう。

貸家あり

住宅向き
商店向き

委細面談

平町新川町
中野勇吉

吉田眼科

平町紺屋町

電話六八番

共 存 共 榮

融 金 / 易 融

蓄 貯 / 味 趣

堅 固 / 意 誠

磐城 無 限 公 司

内 務 省 特 許 第 一 號

リ 所 扱 取 - 所 限 至 何

イ 下 込 申 出 時 何

ス マ 利 禁 止 會 社 絶

腸胃

内 科 專 門

腸 胃 十 二 指 腸 病 胃 腸 病 腸 胃 性 腸 病

婦 淋 病 淋 病 婦 人 病

毒 梅毒 皮膚 病

院 醫 科 (七〇一話電 町 南 平)

生徒募集廣告

第一學年 約二百五十名
第二學年 補缺若干名

右募集 ス (但し願書切三月十日)

昭和四年三月六日

磐城中学校

電球特賣

ス タ 入 半 消 電 球

特 價 卅二燭 十六燭 廿四燭 一二十錢均一

百 燭 三十五錢 外ニマツタ電球

平町三丁目 電話十九番

大谷時計病院

自慢のお菓子

經濟と實用を兼ねた一等品としての自信を誇る弊社製のお菓子は御家庭用に!!御進物用に!!!

▲尼子 殿中 ▲時雨の松
▲龍燈 あられ ▲平の友
▲名物 尼子豆 ▲菊の友
▲鹽せんべい ▲マコロンケーキ
▲パン粉各種

市内各菓子店で發賣...是非御愛用を願上ます

平製菓株式会社

電話 三三六〇番

瓶詰販賣滿一週年記念

酒 特 撰 賣 出

壹升瓶詰 一本 壹圓四拾錢 (空瓶交換レツテル付)

壹斗樽詰 一本 拾 貳 圓 (格 ヌ キ)

(但從來の瓶詰價格並に空瓶交換の方法は從前の通り)

第一の春の御案内

新色の春の中折
新柄の鳥打帽子
色々變つた子供さんの帽子

ウエントウは春もの、陳列で氣分新らたなるものがあります。何卒御覽下さい。

平町 電話四十番

ツルヤ商店

三益玉炭のお奨め

◎無煙無臭デ火付が早く、火持ち良ク、火力が強く、日常ノにやきニハコナナ便利ナ品ハアリマセン。

◎ソレデ値段ハ大變オ安く、木炭ノ三分ノ一デ充分間ニ合ヒマス。

◎ドンナニ喰はずきらいノ人デモ一度使へバ必ず御氣ニ召スノガ此ノ玉炭ノ特長デス。

◎値段ハ壹箱金貳圓 個數ハ約八百個内外

◎御申越次第見本持參御覽ニ供シマスカラ御申越下サイ

平 驛 前 電話二三七

阿部石炭商店

セメント
壁用材料
コイルタール
ペンキ塗料
板ガラス

磐城セメント株式会社

代理店 西村屋薬舗

平町二丁目 電話 三番

驚いた!!!

こうまで安いとは

平・加納活版所の印刷物

痔の高級内服薬

「ダイサン錠」

平五 山野邊藥局